

東京都立羽村高等学校

令和3年度 年間授業計画

教科:家庭

科目:家庭総合

単位数: 2 単位

対象学年組:第1学年 1組~8組

教科担当者:(1組:杉山)(2組:成田・杉山)(3組:成田・杉山)(4組:池谷・成田)(5組:成田・杉山)(6組:池谷・杉山)(7組:成田・杉山)(8組:成田)

使用教科書:家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)

使用教材:生活学Navi(実教出版)

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	対エンターテインメント 経済生活を営む 18歳成人 現代の消費社会 消費行動と意思決定	・家庭総合について対エンターテインメントを行い、学ぶ内容について理解させる。 ・「18歳成人」DVDを見ながら消費者として気を付けることを理解させる。資料を用いながら、18歳で成人になった時の心構えや知識を知らせる。 ・契約について理解させる。 ・消費者主権の意味を意味を理解し、適切な意思決定や消費行動ができるようになる。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (作品提出) (定期考査)	6
5月	社会の変化と消費生活 消費者の権利と責任 衣生活をつくる 被服の役割を考える 被服の入手	・最近の消費者問題の内容及び問題点を知り、対処できる力を身につける。 ・消費者を支援する制度を理解する。 ・被服の保健衛生的機能と社会的機能について理解する。 ・被服を着用することが、自己の表現手段であることを考えさせる。 ・被服の入手のポイントについて理解し、購入の仕方について考える。		6
6月	被服と表示 被服の材料 被服の管理 被服製作 基礎縫い	・日常来ている被服の素材にはどのようなものがあるかを観察し布地の種類を理解させる。繊維がわかり、繊維の種類と特徴を知らせる。 ・被服材料の原料を学習し着用の際、どのような利点欠点があるのかつながりを理解させる。 ・被服の手入れや洗濯、仕上げや保管の方法について理解させる。 ・被服製作の基礎的な技術、道具の扱いの技術を理解させる。		8
7月	基礎縫い 学期末考査	・被服製作の基礎的な技術、道具の扱いの技術を理解し、技術を習得する。 期末考査		4
9月	衣生活をつくる 被服製作 基礎縫い 被服製作 作品の制作	・ミシンの使い方、ミシンの機能を理解させる。 ・日常生活に活用できる作品を制作する	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (実習作品提出) (定期考査)	6
10月	被服製作 作品の制作 食生活 献立と調理	・日常生活に活用できる作品を制作する ・調理実習について、調理法、調理の基礎、安全で衛生的に調理が出来るような知識を身につけさせる。		8
11月	・調理実習① ・調理実習② ・調理理論	献立:ご飯、みそ汁、肉じゃが 献立:スパゲッティミートソース、みかんの寒天 調理実習のまとめをする。 調理実習① ご飯の炊き方、だしの取り方、煮物の基本など 調理実習② 麺のゆで方、寒天の性質		8
12月	食生活 ・献立と調理 ・食品の選択と取り扱い	調理実習に使用した食品を中心に日常生活によく使用する食品について学ぶ。		4
1月	保育 ・妊娠の成立 ・体験しよう	・妊娠成立の仕組みを理解し、生命に対する責任を自覚させる。また妊婦体験を通して母体の心身の変化の様子を理解し、男女が協力して新しい生命を育む重要性について考えさせる。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (定期考査)	6
2月	保育 ・子どもの遊び	・子どものおもちゃを作成する。児童文化財の意義と重要性について理解させる。おもちゃを作成を通じて、子どもの言葉の理解、遊びについて考えさせ		8
3月	学年末考査 今年度のまとめ	・学年末考査 ・今年度の学習内容の理解と来年度の学習内容の確認、必要な教科書、知らせる。		6
				70